

令和8年度

仕様書

業務名称 発寒清掃工場ポンプ設備中間整備業務

札幌市環境局環境事業部発寒清掃工場

I 委託業務の概要

1 業務名称

発寒清掃工場ポンプ設備中間整備業務

2 業務内容

本委託業務は、工場全体の安定した稼働を確保することを目的とし、ポンプ設備の円滑かつ継続的な運転を図るための点検、整備、清掃を行うものである。

3 履行期間

契約日から令和8年8月28日まで

なお、各整備（負荷運転時確認を除く）は、Ⅲ2（3）に示す焼却炉停止期間内に実施すること。

4 履行場所

札幌市西区発寒15条14丁目1番1号

札幌市発寒清掃工場

5 設備概要

(1) 脱気器給水ポンプ 1号No.2、2号No.2 荏原製作所製

ア 型式：片吸込渦巻ポンプ 80×50IFWM2514

イ 吐出量：70 t/h

ウ 電動機：30 kW

エ 製番：R147010303.2/2、R147010304.2/2

(2) 減温水ポンプ 2号No.1、2号No.2 荏原製作所製

ア 型式：片吸込渦巻ポンプ 80×50IFWM3224

イ 吐出量：14 t/h

ウ 電動機：30 kW

エ 製番：R080025701.1/2、R080025701.2/2

6 業務範囲

本共通仕様書、整備仕様書及び図面（複写厳禁）のとおり。

7 再委託について

再委託する場合は、事前に再委託承諾願を提出し、委託者の承諾を得ること。

なお、受託者は、次に掲げるものを再委託することは出来ないものとする。

(1) 総合的な業務履行計画及び進捗管理

(2) 整備手法の決定及び技術的判断

8 用語の定義

本仕様書で用いる用語は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修、令和5年版建築保全業務共通仕様書による。

II 一般事項

1 提出図書等

(1) 業務着手時に提出するもの

ア 業務着手届 2部

契約後、業務に着手した時は直ちに届け出ること。

注1) 着手届けの余白部分に労働基準監督署からの「労働保険関係成立の証」受領印があること。または、契約日から遡及して1年以内の受付及び受領印が押印されている保険関係成立届、年度更新申告書等の法定様式控え等を添付すること。なお、上記保険成立印取得に時間を要する場合は、「労働者災害補償保険関係成立証明書」を後日提出することも認めるが、その間現場での実作業は行えない。

- イ 業務責任者指定通知書 2部
 - ウ 業務責任者経歴書 2部
 - エ 業務日程表 2部
- (2) 現場作業前に提出するもの（該当しない項目は除外可）
事前に施設管理担当者に提出の上、承諾を得ることとし、内容に不足、疑義等があった場合には、承諾を得るまで作業ができないものとする。
- ア 安全管理体制表 1部
 - ア) 安全管理体制・安全活動計画
 - イ 施工管理 1部
 - ア) 履行（施工）計画書
 - ①連絡体制・履行体制表
 - ②資格者名簿（本業務に必要な資格）
 - ③仮設・搬入計画
 - イ) 整備要領書
整備毎に整備手法、手順など詳細な作業手順書を記載すること。
 - ウ) 立会項目一覧表
施設管理者の立会を要する項目と予定日時を記載すること。
 - ウ 品質管理 1部
 - ア) 品質管理体制・社内検査体制表
 - イ) 測定機器一覧
(使用予定測定機器の検査成績書及び校正履歴等の管理記録)
 - ウ) 品質管理チェックシート
(自主検査で確認する項目・基準・精度の目標等を記したもの)
- (3) 現場作業中に提出するもの
- ア 作業日報 1部
 - イ 週間予定表 1部
- (4) 業務完了時に提出するもの
- ア 提出図書目録 2部
 - イ 整備報告書 2部
整備毎に整理し、一括提出すること。
整備及び検査等に使用する測定機器等については、検査成績書及び校正履歴などの管理記録を併せて提出すること。
また、該当設備・機器について熟知した者が作業を行い、次回交換推奨部品や点検推奨項目等を報告書に記載すること。
- ウ 業務記録写真 2部
業務記録写真は、各整備の整備前、整備中、整備後を撮影し提出すること。
原則として印刷物及び電子媒体の両方を提出すること。印刷物の1部は両面カラーコピーとする。また、写真の整理は以下のとおりとする。
 - ・写真は、有効画素数が100万画素程度から300万画素程度（1200×900ピクセル程度から2000×1500ピクセル程度）のデジタル写真とする。
 - ・写真の大きさは、原則としてDSC(89×119)とする。
 - ・写真はA4S版以内のファイルに整理する。
 - ・プリンターはフルカラーで300dpi以上
 - ・用紙、インク等は通常の使用条件のもとで、3年間程度顕著な劣化の生じないもの

- エ 試験成績表（各種測定表を含む） 2部
測定結果については、委託者が別途示す基準値及び許容値を併記し、良否判断が可能な構成とすること。
- オ 業務完了届 2部
- カ 完成図面等 2部
- (5) 発注者の必要に応じて提出を求めるもの
名称及び提出時期は次のとおり。
- ア 法定検査用図書（法定検査前） 1部（該当時）
- イ 施設管理担当者との打合せ記録簿（打合せの都度） 1部
- ウ 異常報告書（速報）
各種測定記録時に管理基準値外の数値を計測した場合又は異常の疑いが見られる場合にはただちに速報を提出すること。
- (6) 提出図書等の様式
提出する書類等の様式は、事前に施設管理担当者と協議のうえ、承諾を受けること。
- 2 検査に使用する測定器及び計装用計器（以下、「測定器等」という）
- (1) 検査に使用する測定器等は、校正又は点検調整済みの機器とし、事前に校正記録、検査成績書、点検表及び使用期限を明示した記録を提出し、施設管理担当者の承諾を受けること。
- (2) 測定器等は、その測定に必要とされる精度のものを使用すること。
- (3) 測定器等は十分な保管管理を行い、使用しない時は専用のケース及び場所に保管し損傷等による測定値の誤りのないようにすること。
- (4) 測定器等を損傷させた場合及び誤測定が発生した場合は、代替品により再測定を行うこと。この場合も(1)同様事前承諾を受けること。
- 3 適用法令
- (1) 「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」「電気事業法」「労働安全衛生法」等の関係法令に基づいて業務を行うこと。
- (2) その他適用法令及び適用規格
業務の履行にあたり、下記の関連法令及び規格を遵守すること。
- ア 日本産業規格
- イ 内線規程
- ウ 消防法
- エ 建築基準法
- オ 建設業法
- カ その他関連法令、規格
- 4 業務条件
業務の実施時間帯は、原則として下記のとおりとする。
- ・業務時間：8時30分～17時00分
- 休日（土・日曜日及び祝祭日）に業務を行う場合及び上記時間帯を超過する場合は、施設管理担当者と協議すること。
- (1) ごみ受入、ごみ焼却炉の運転、焼却灰搬出の停止期間及び履行期間中の他予定業務・工事は特記による。
- (2) 施設内入退出について
施設内への入退出場所・方法・時間については、施設管理担当者と調整し、承諾を受けること。

5 業務責任者

(1) 業務の実施に先立ち業務責任者を選任し、次の事項について書面をもって提出する。なお、業務責任者に変更があった場合も同様とする。

ア 氏名

イ 生年月日

ウ 経歴書

エ 受託者との雇用関係を証明する書類等

(2) 業務責任者は常駐とし、業務担当者に作業内容及び施設管理担当者の指示事項等を伝え、その周知徹底を図ること。なお、常駐とは、実際に整備作業（資材・機材の搬入、仮設作業等を含む）が行われている期間を示し、以下の期間を除く。

・契約から現場施工に着手するまでの期間

・炉の切替期間など、整備作業が全面的に一時中止している期間

(3) 本業務期間中に別契約の業務委託又は工事と重複する場合、他の業務責任者または現場代理人との工程調整を図ること。

6 業務担当者

(1) 次のような資格者による作業が必要な場合、関係法令等に従い、適切に有資格者を配置すること。なお、資格者は重複しても差し支えないものとする。

ア 天井クレーン運転資格者

イ 玉掛け有資格者

ウ 非破壊検査資格

エ その他関連法令等上で必要となる資格

7 建物内外施設等の利用

(1) 居室等の利用
原則として利用できない。

(2) 資材置場、仮設事務所

資材置場、仮設事務所等に必要とする用地については、施設管理担当者と十分協議し、当工場の運転管理に支障が生じないように計画すること。

8 駐車スペースの利用

業務履行に伴う車両の駐車に必要な用地は、別図に示すので施設管理担当者と十分協議し、当工場の運転管理に支障が生じないように計画し利用すること。

9 安全衛生管理

(1) 業務責任者は業務担当者の労働安全衛生に関する安全教育に努め、関係法令に従い作業環境を良好な状態に保つことに留意し、特に換気、騒音防止、照明の確保等に心掛けること。

(2) 酸欠等作業場所

施設内は、酸素欠乏等の危険な箇所もあることから事前に確認し、業務担当者に周知するとともに、法律等関係法令を遵守し事故防止に努めること。

10 火気の取扱

火気を使用する場合は、あらかじめ施設管理担当者の承諾を得るものとし、その取扱いに際しては十分注意すること。

11 喫煙の禁止

喫煙は、工場敷地内（車両内を含む）において禁止する。

12 出入禁止箇所

業務に関係のない場所及び部屋への出入りは禁止する。

1 3 服装等

- (1) 業務関係者は、特記事項による他、業務に適した服装、履物で業務を実施すること。
- (2) 業務関係者は、前号に定める場合、また特別な作業に従事する他は、名札又は腕章の着用を義務付ける。

1 4 施設管理担当者の立会い

作業に際して施設管理担当者の立会いを求める場合は、原則事前の申し出による。

1 5 業務の立会い、確認

施設管理担当者の指示に従い、次の立会い、確認を受けること。

(1) 業務開始前

当該設備の現状を確認し、履行体制等の準備の後、原則として施設管理担当者の確認を受けること。

(2) 業務実施中

ア 自主検査

受託者は、各機器の整備終了次第チェックシート等により検査し、報告すること。

イ 段階確認ほか

各整備は、指定された期間内に実施するものとし、前述の自主検査を終了した後、施設管理担当者の立会、確認を受けること。

なお、施設管理担当者より改善指示書が出された場合は指定する期日までに改善するとともに、当該箇所の改善報告書を提出し、施設管理担当者の立会、確認を受けること。

1 6 復 旧

他の設備及び既存物件の損傷、汚染防止に努め万一損傷又は汚染が生じた場合は、速やかに施設管理担当者へ報告するとともに、受託者の責任において原状復旧すること。

1 7 その他

- (1) 作業は本仕様書に基づいて行い、部品等について明記のない場合及び汎用品を除き、部品等はメーカー純正品とし規格・型番等は厳格に守ること。
- (2) 各作業について職種別に人工数を作業日誌等で報告すること。
- (3) 各機器整備後の試運転調整、完了条件は特記事項による。
- (4) 特許等に関わる事項は、受託者にて整理すること。

III 特記事項

1 受託者の負担の範囲

受託者の負担の範囲は次による。

- (1) 業務の実施に必要な車両に係る経費
- (2) 業務の実施に必要な工具、校正証書付計測器等機材（機器付属品は除く）
- (3) 業務の実施に必要な消耗部品、材料、油脂等（支給品除く）
- (4) 業務の実施に必要な事務所、エアシャワー室等の仮設設備
- (5) 業務の実施に必要な電気料金

なお、本体整備業務とその他の整備業務を同時期に実施する場合は、本体整備業務の受託者が共用で使用するコンプレッサ等の電気料金を負担すること。

- (6) 業務の実施に必要な外線電話等の使用に係る経費
- (7) 文具等の事務消耗品
- (8) 日誌及び報告書の用紙、記録ファイル

2 業務条件

- (1) 履行期間中においても、ごみの受入れ及び焼却炉の運転は継続していることから、関連設備の整備を行う場合は、運転中の焼却炉等に支障のない方法で行うこと。
- (2) 履行期間中において、焼却炉の運転休止に関する作業については施設管理担当者と綿密な調整を図りながら、次の予定停止期間内で実施すること。
- (3) 焼却炉等の予定停止期間
1号炉：令和8年6月3日～令和8年6月29日
2号炉：令和8年6月1日～令和8年6月24日
- (4) 本業務履行期間中における他予定業務、工事は次のとおりである。
 - ア 発寒清掃工場焼却設備中間整備業務
 - イ 発寒清掃工場ダイオキシン濃度測定業務
 - ウ 発寒清掃工場クレーン設備中間整備業務
 - エ 発寒清掃工場煙突整備業務
 - オ 発寒清掃工場計装設備保守業務
 - カ 発寒清掃工場電気設備整備業務
 - キ 発寒清掃工場空気圧縮機整備業務
 - ク 発寒清掃工場電油操作器整備業務
 - ケ 塩化水素・ばいじん濃度計保守業務
 - コ 4分析計保守業務

3 アスベスト事前調査等

- (1) 「石綿事前調査等結果報告書（アスベスト調査票）」並びに「当該施設のしゅん功図等」を貸与するので、図面及び現場の目視調査で施工場所におけるアスベスト及びその他有害物質の有無を有資格者によって確認すること。
- (2) アスベスト及びその他有害物質の使用が不明な見え隠れ部分の調査については、保護具を装着して、必要に応じて建材を湿潤に保ちながら手ばらしで行い、新たにアスベスト及びその他有害物質を発見した場合には、速やかに作業を中止し、監督員と施工方法等について協議すること。
- (3) 調査結果の報告
事前調査が完了した際は、石綿障害予防規格及び大気汚染防止法に基づき、以下のとおり各種報告書等を行うこと。
 - ①委託者に事前調査の結果等を書面で交付し、説明すること。
 - ②労働基準監督署及び札幌市（環境局）に事前調査の結果等について報告を行うこと。
 - ③事前調査の結果等については、公衆に見やすいように掲示すること。

4 作業用エア

- (1) 作業用に別途空気圧縮機を設置し、作業用エアを確保すること。
- (2) エアシャワー室用エアについても同様とする。

5 仮設設備等及び作業動線養生

- (1) 事前に仮設計画書を提出し、施設管理担当者の承諾を得ること。
- (2) 通路及びエレベーター等の作業動線を養生すること。

6 緊急措置

本仕様書に明記していない不測の事態が発生した場合は、速やかに施設管理担当者に報告の上、処置方法を協議し対処すること。

7 支給材料

整備仕様に示すとおり。
また、支給材料の数量、外観、機能検査を行い、疑義がある場合は直ちに施設管理担当者へ連絡すること。

8 廃棄物の処理

- (1) 業務の実施に伴う発生材の処理先（引渡場所）は以下のとおりとする。

	発生材・廃棄物名	処理先（引渡場所）
ア	焼却可能なもの	投入ステージ
イ	廃金属	廃金属置場
ウ	廃油	廃油置場

- (2) 仮設事務所から出る廃棄物及び仮設便所の処理費用は、受託者の負担とする。

9 完了確認

受託者は、各設備・機器の整備終了後、以下の（1）（2）の検査、並びに（3）の合格条件を満たしていることの確認を受けること。

- (1) 個別機器の整備報告書等に基づく検査

- (2) 試運転

ア 個別機器の試運転検査

- (3) 合格条件

ア 前述の検査において不具合、不良箇所が発見されない場合。

イ 前述の検査において不具合が発見された場合、直ちに原因の調査、報告を行い、補修方法等について協議するものとし、

(ア) その原因が受託者の責に帰するものである場合は、受託者の責任により復旧し、再度、前号と同様の検査方法により不具合が発見されない場合。

(イ) その原因が受託者の責に帰するものでない場合。

10 環境負荷の低減

- (1) 本業務の履行においては、委託者である札幌市の環境マネジメントシステムに準じ、環境負荷の低減に努めること。

- (2) 施設内清掃作業にあたっては、環境に配慮した資機材及び装備等を使用し、極力節約に努めること。

- (3) 自動車等を使用する場合は、できるだけ環境負荷の少ない車両を使用し、アイドリングストップの実施など環境に配慮した運転を心がけること。

- (4) 本業務の履行において使用する物品・材料等は極力環境に配慮したものをを使用すること。

- (5) 業務に伴い排出される廃棄物は極力、減量、リサイクルすること。

11 その他

- (1) 本仕様書に明記のない事項については、施設管理担当者と協議して決定する。

- (2) 疑義の発生についても前号と同様とする。

整備箇所	図番	整備内容及び特記事項
1 脱気器給水ポンプ 整備 1号No.2、2号No.2 (2台)	2 3 4 5	<p>ポンプの整備を行うこと。</p> <p>1) 当工場内で整備は行えないため、整備工場に搬出して整備を行い、整備後に搬入すること。</p> <p>2) 各部の摩耗、侵食等の点検及び計測を行うこと。分解開放時に施設管理担当者の立会検査を受けること。</p> <p>3) インペラ、シャフト、ガイドベーン等のカラーチェックを行い、施設管理担当者の立会検査を受けること。なお、カラーチェックは非破壊検査レベル2以上の有資格者が実施すること。</p> <p>4) 支給品の交換を行うこと。</p> <p>5) 電動機の軸受け交換及びカップリング含む嵌め合い部の計測を行うこと。</p> <p>6) ポンプ取付後、芯出し調整を行い、施設管理担当者の立会検査を受けること。</p> <p>7) 試運転調整を行うこと。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 運転時の振動、軸受温度、吐出圧力等の測定を行い施設管理担当者の立会検査を受けること。 ・ 運転確認を指定日に実施し、ミニマムフロー運転及び負荷運転中の試験を各1時間以上行うこと。
2 減温水ポンプ 整備 2号No.1、No.2 (2台)	2 3 6 7	<p>ポンプの整備を行うこと。</p> <p>1) 当工場内で整備は行えないため、整備工場に搬出して整備を行い、整備後に搬入すること。</p> <p>2) 各部の摩耗、侵食等の点検及び計測を行うこと。分解開放時に施設管理担当者の立会検査を受けること。</p> <p>3) インペラ、シャフト、ガイドベーン等のカラーチェックを行い、施設管理担当者の立会検査を受けること。なお、カラーチェックは非破壊検査レベル2以上の有資格者が実施すること。</p> <p>4) 支給品の交換を行うこと。</p> <p>5) ポンプ取付後、芯出し調整を行い、施設管理担当者の立会検査を受けること。</p> <p>6) 試運転調整を行うこと。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 運転時の振動、軸受温度、吐出圧力等の測定を行い施設管理担当者の立会検査を受けること。 ・ 運転確認を指定日に実施し、ミニマムフロー運転及び負荷運転中の試験を各1時間以上行うこと。

	整備箇所	図番	整備内容及び特記事項
	3 その他		<ul style="list-style-type: none">・ 整備は各号機の間重整備期間に実施すること。・ 点検報告書及び次回推奨交換部品、推奨整備項目を提出すること。様式は別紙点検報告書様式を参考とすること。・ 各測定に使用する機器の検査証明書を事前に提出すること。

支給品

脱気器給水ポンプ

2 台

減温水ポンプ

2 台

	品 名	番号・規格	数量
1	玉軸受	056	4個
2	メカニカルシール	111	2個
3	Oリング	115-1	2個
4	ガスケット	117-1	2個
5	ガスケット	117-6	2個
6	ガスケット	117-7	4個
7	軸受潤滑用オイル		1.2L
8	電動機用玉軸受	6210ZZC3	2個
9	電動機用玉軸受	6212ZZC3	2個
10	シャフト	031	1個
11	軸スリーブ	042	2個
12	インペラナット	048	2個
13	ボルト	120-28	2個
14	波座金	158	2個
15	油面計	255	2個
16	カップリング		1組

	品 名	番号・規格	数量
1	パッキン用スリーブ	041	2個
2	玉軸受	056	4個
3	ガスケット	117-1	2個
4	ガスケット	117-6	2個
5	ガスケット	117-7	4個
6	グラントパッキン	119	10個
7	オイル		1.2L

※使用オイル:ダフニースーパータービン46

※脱気器給水ポンプの支給品で、「シャフト」「カップリング」は2号用

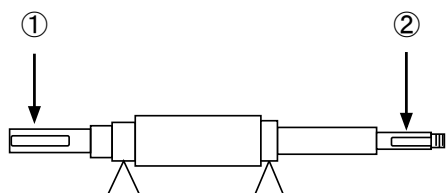
別紙 点検報告書様式

測定記録

名称	製番	型式	機番	台数	測定日	測定者

測定記録

主軸(シャフト)の振れ計測



単位: mm

測定箇所	①	②	—	許容値	判定
主軸(シャフト)振れ			—		

測定機器

製造番号

・
・

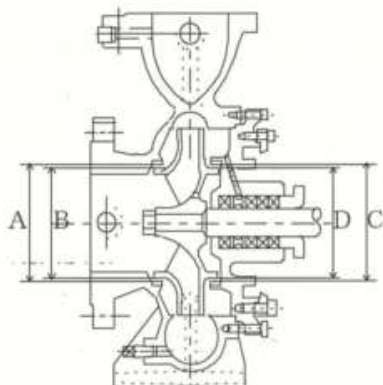
・
・

羽根車、ライナリング摺動部計測

単位: mm

測定箇所	設計値	管理値	分解時	組立時	判定
A ライナリング	—				
B 羽根車(インペラ)	—				
A-B クリアランス					
C ライナリング	—				
D 羽根車(インペラ)	—				
C-D クリアランス					

温度: °C



測定機器

製造番号

・
・

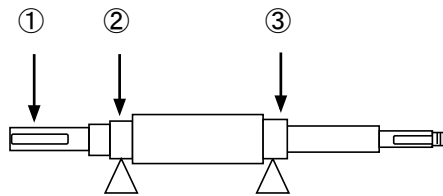
・
・

測定記録

名称	製番	型式	機番	台数	測定日	測定者

測定記録

主軸(シャフト)嵌め合部の計測



測定機器

製造番号

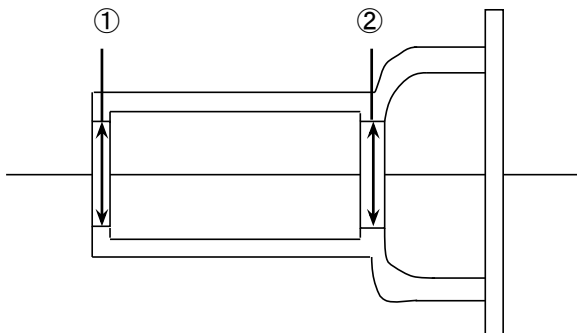
・
・

・
・

単位: mm

測定箇所	①カップリング側	②負荷側	③反負荷側	設計値	判定
各部内径寸法				-	
主軸嵌め合部外径寸法				-	
隙間				-	
許容値				-	

軸受け胴体と軸受け外輪間隙計測



単位: mm

測定箇所	①負荷側	②反負荷側	設計値	判定
軸受け胴体内径			-	
軸受け外輪寸法			-	
隙間			-	
許容値			-	

温度: °C

測定機器

製造番号

・
・

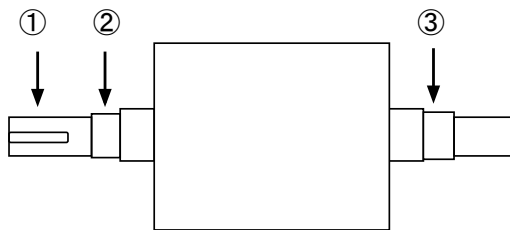
・
・

測定記録

名称	製番	型式	機番	台数	測定日	測定者

測定記録

電動機軸受け等嵌め合部の計測



測定箇所	①カップリング	②ポンプ側	③ファン側	判定
嵌め合部内径寸法				
嵌め合部外径寸法				
隙間				
許容値				

温度： °C

測定機器

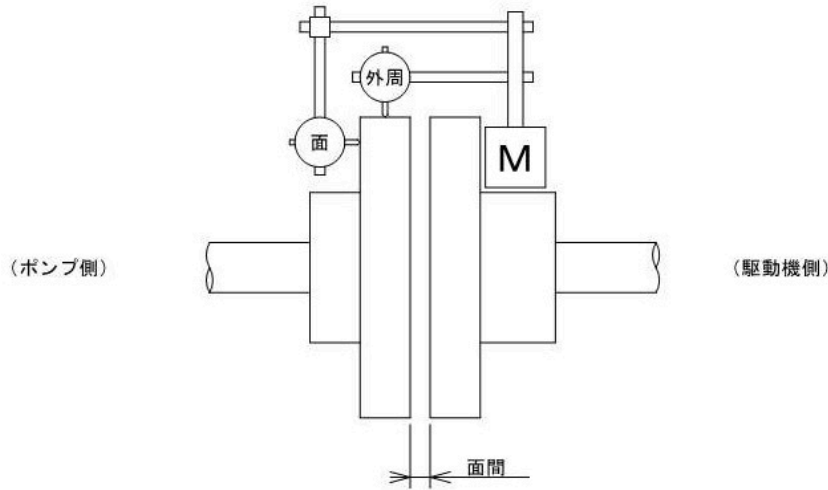
製造番号

・
・

・
・

センターリング測定記録

名称	製番	型式	機番	台数	測定日	測定者



温度： °C

単位：1/100mm

測定点 項目	外周				面				面間 (mm)	備考
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧		
調整前										
調整後										
管理基準値										
判定										

測定機器

製造番号

・
・

・
・

試運転記録(ミニマムフロー・負荷運転)

名称	製番	形式	機番	台数	測定日	測定者

試運転記録

測定項目 記録 時・分	ポンプ圧力		電流	軸受温度			
	吸込	吐出		ポンプ		電動機	
				①	②	③	④
MPa		A	℃				
起動前							
0: 10							
20							
30							
40							
50							
60							
70							
80							
90							

軸受温度: 室温+40℃ max80℃以下
電流値: 52.5A以下

測定機器

製造番号

・
・

・
・

軸受部振動測定記録

単位: 1/1000mm (全振幅)

測定点 項目	ポンプ		駆動機	
	①	②	③	④
水平方向				
垂直方向				
軸方向				
管理基準				
判定				

測定機器

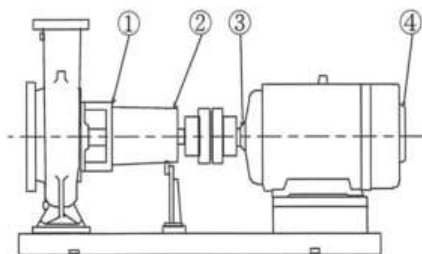
製造番号

・
・

・
・

運転 : ~ :

温度 : °C



令和8年度

設計図面

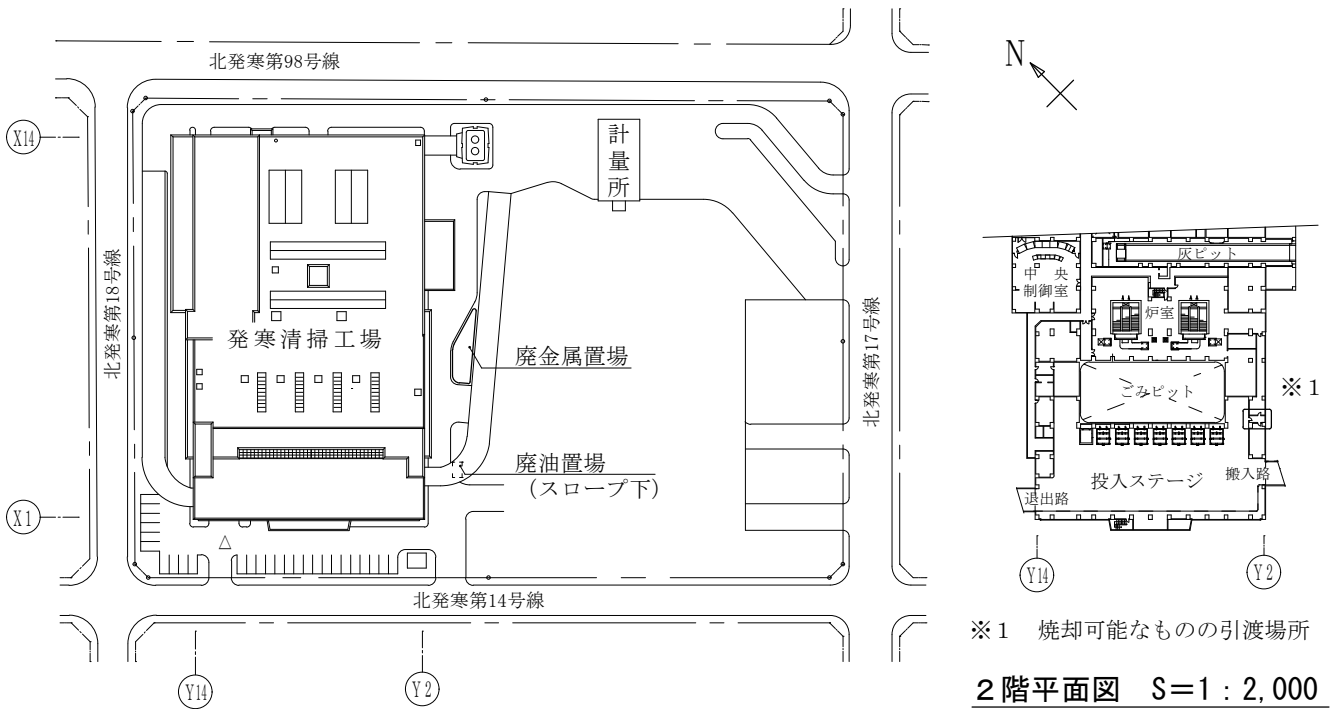
業務名称 発寒清掃工場ポンプ設備中間整備業務

1	付近見取図、配置図、2階平面図		
2	1階平面図		
3	搬出入経路図（屋外図、1階平面図）		
4	脱気器給水ポンプ外形図		
5	脱気器給水ポンプ断面図		
6	減温水ポンプ外形図		
7	減温水ポンプ断面図		



施工場所：札幌市西区発寒15条14丁目1-1

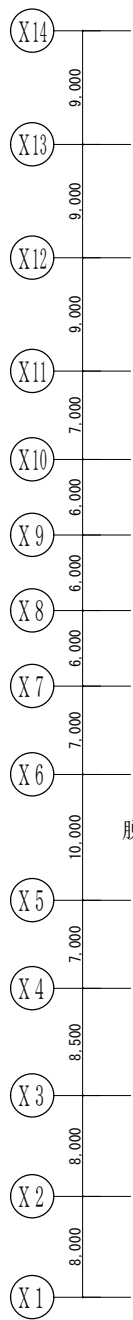
付近見取図 S=1:10,000



配置図 S=1:2,000

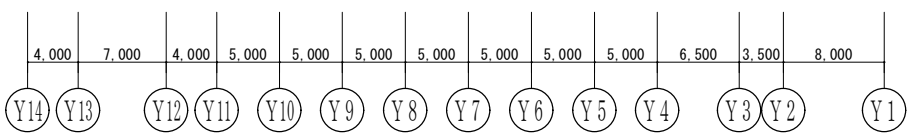
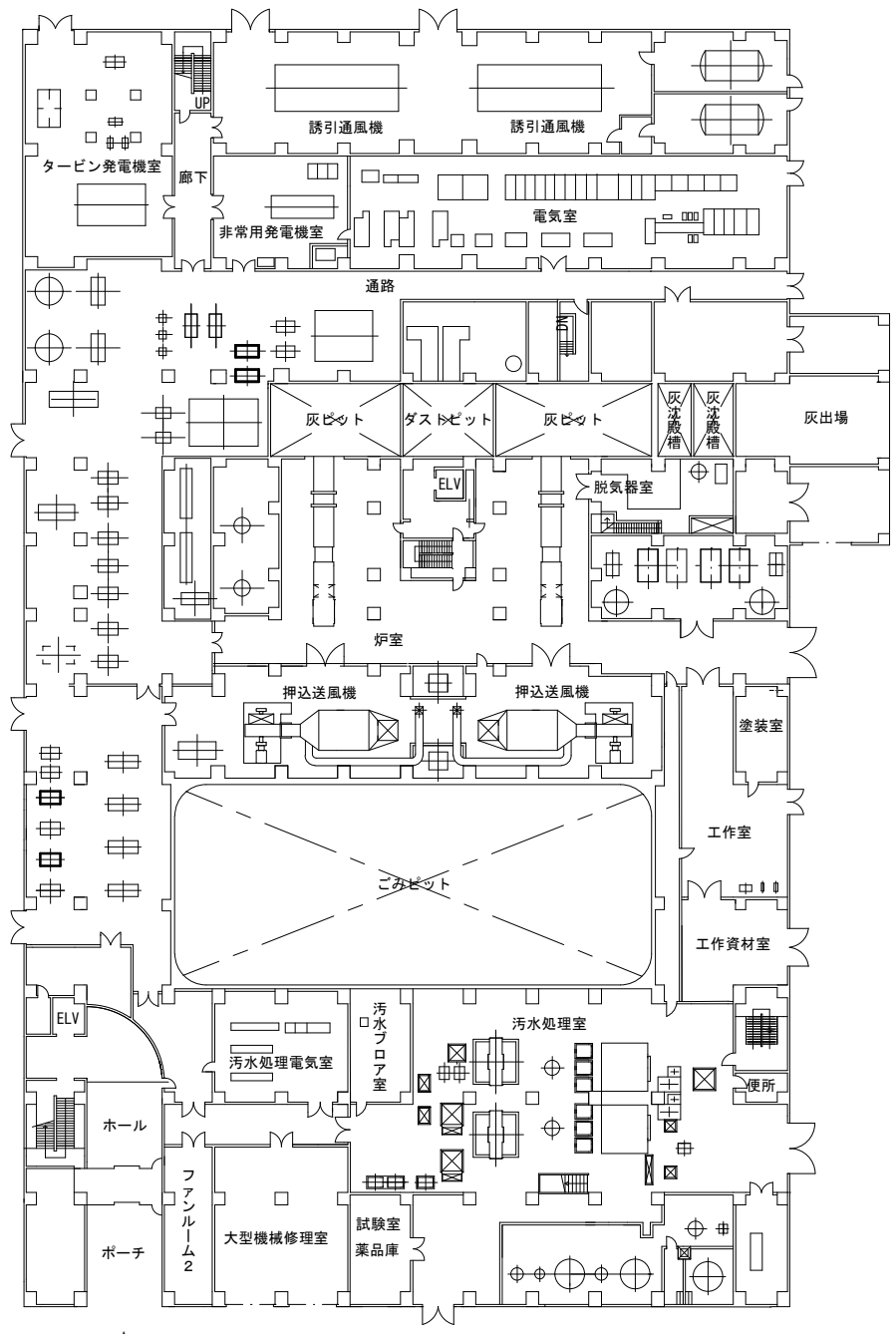
2階平面図 S=1:2,000

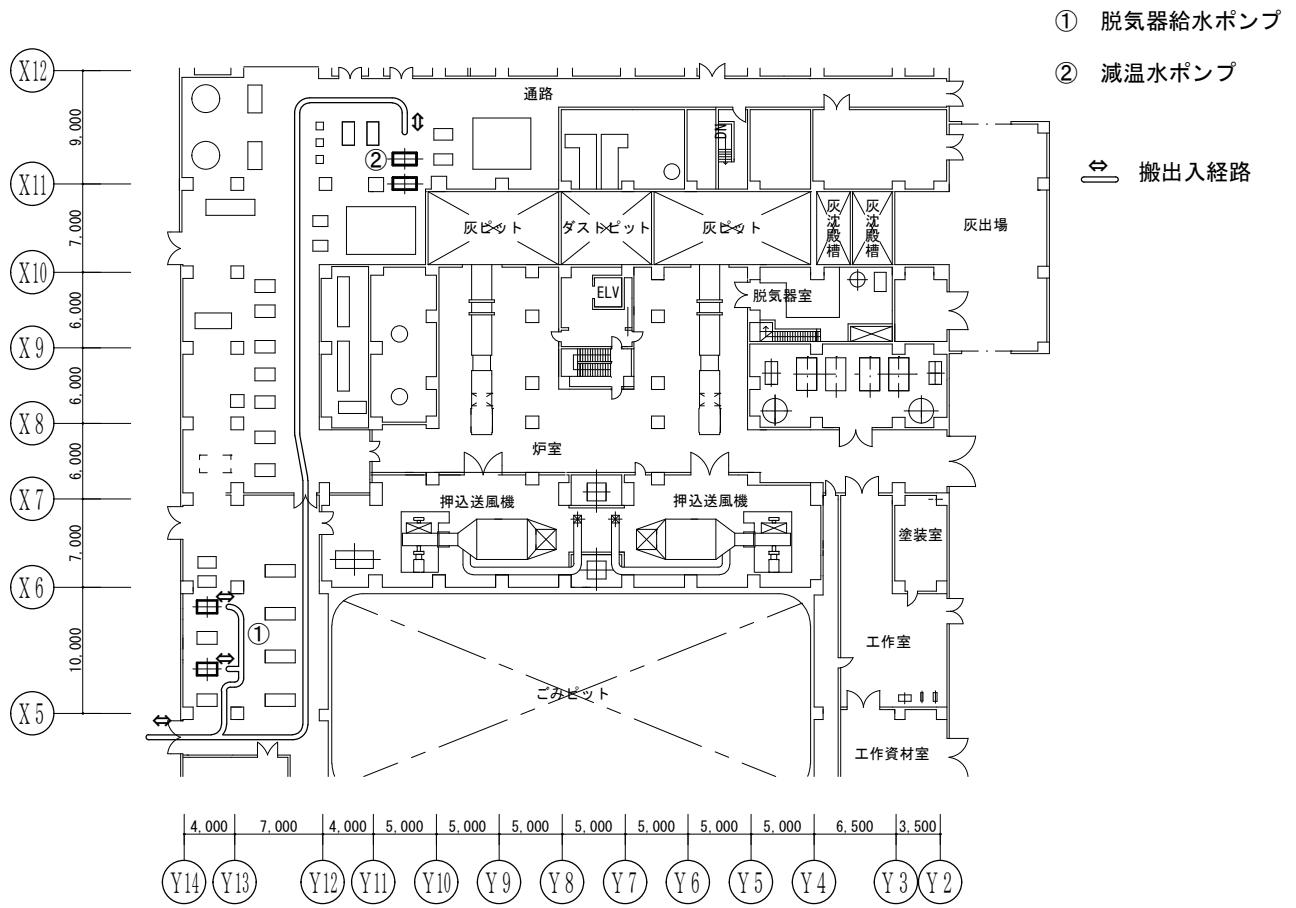
発寒清掃工場ポンプ設備中間整備業務	図番
付近見取図、配置図、2階平面図	1



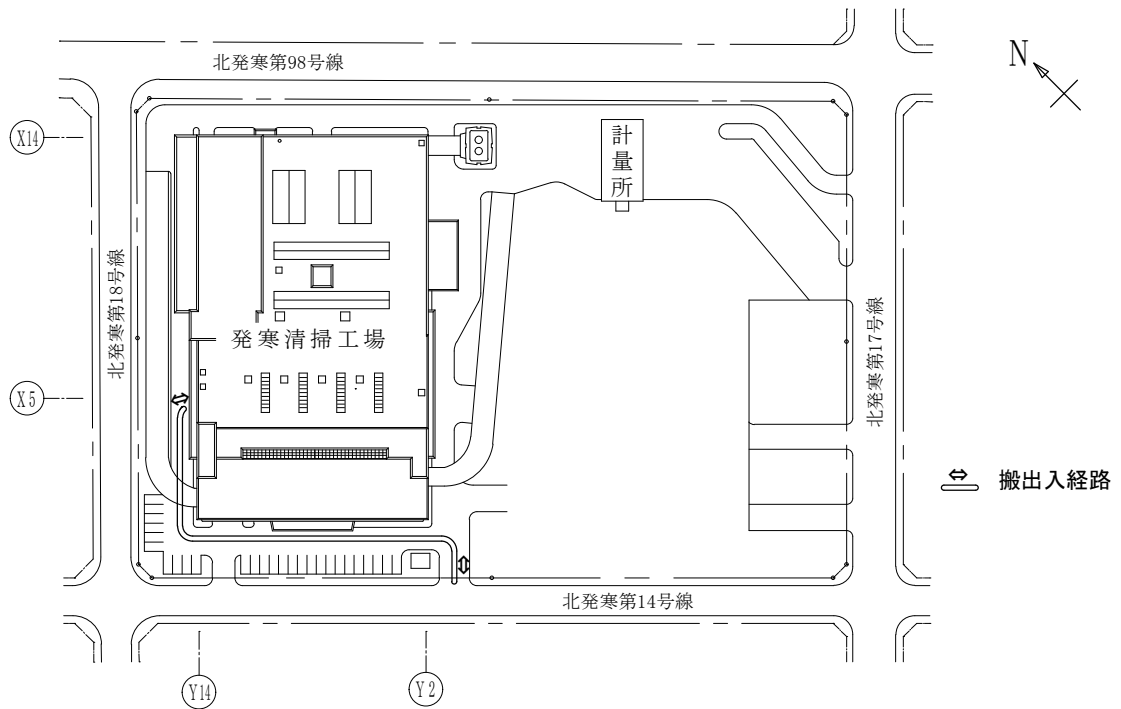
減温ポンプ
2号 No.1、No.2

脱気器給水ポンプ
1号 No.2
2号 No.2



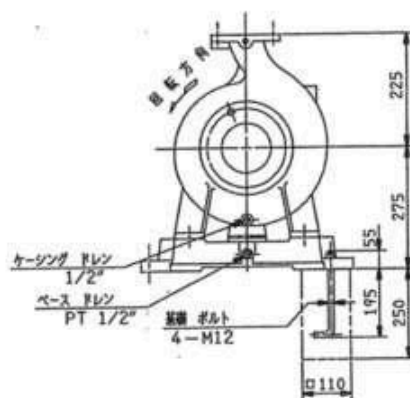
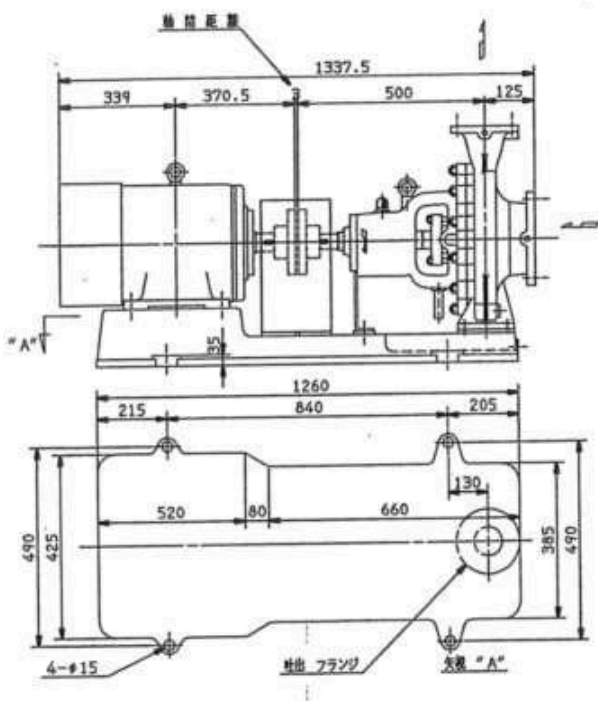


1階平面図 S=1:600



屋外図 S=1:2,000

発寒清掃工場ポンプ設備中間整備業務	図番
搬出入経路図 (屋外図、1階平面図)	3



部 品 名	規 格	材 質
ポンプ	80 kg	タビシ
ベース	91 kg	ISO VG46
モータ	190 kg	容量 0.58 l
合 計	361 kg	

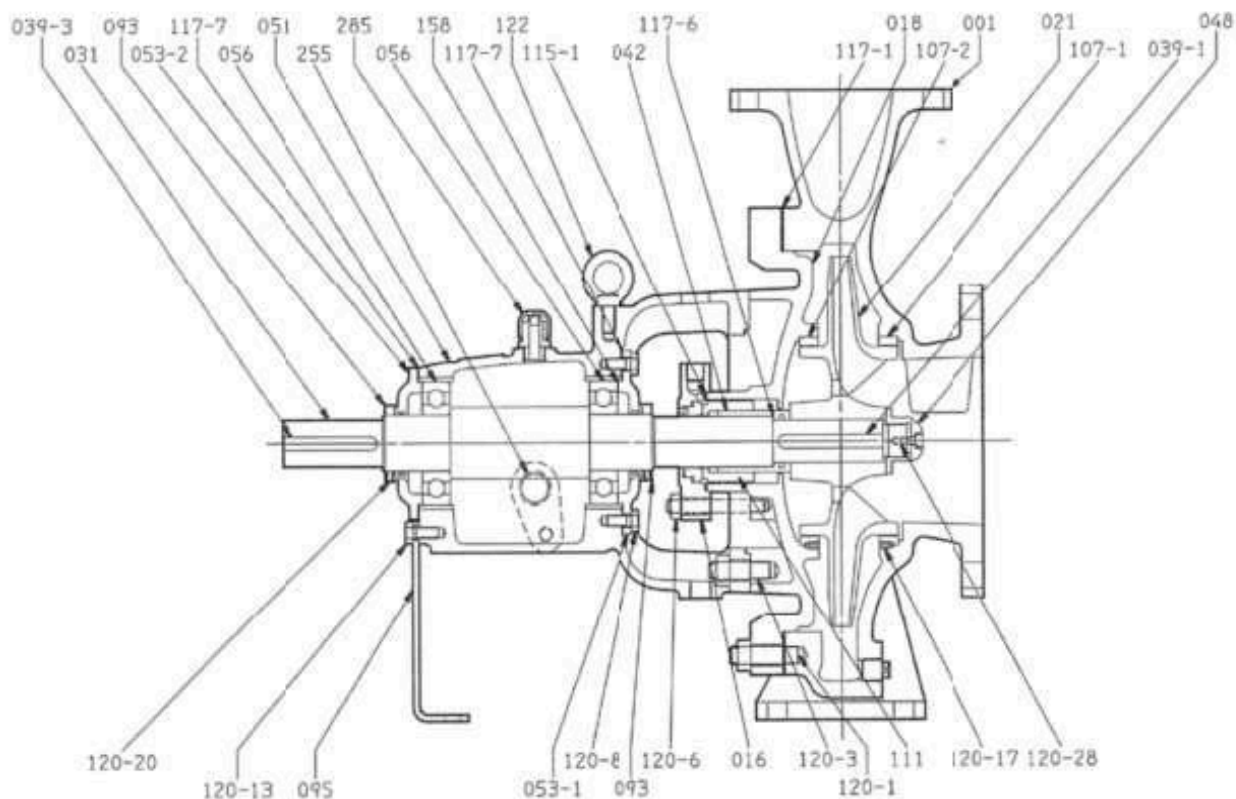
モータのターミナルボックスの位置は、
モータ外形図を御参照ください

ポンプ型式 荏原製作所製
 80×50IFWM2514 R147010303.2/2(1号No.2)、R147010304.2/2(2号No.2)
 70t/h×72.77m
 製造年 2014.11

電動機型式 東芝製
 TIKK 54050002(1号No.2)、44050400(2号No.2)
 30kW 420V 2P 52.5A
 製造年 2014

支給品

玉軸受	056	4個	シャフト	031	1個
メカニカルシール	111	2個	軸スリーブ	042	2個
Oリング	115-1	2個	インペラナット	048	2個
ガスケット	117-1	2個	ボルト	120-28	2個
ガスケット	117-6	2個	波座金	158	2個
ガスケット	117-7	4個	油面計	255	2個
			カップリング		1組
オイル	ダフニースーパータービン46	1.20	電動機軸受	6210ZZC3	2個
			電動機軸受	6212ZZC3	2個



107-2	ケースウェアリング	FCD400	1	
107-1	ケースウェアリング	FCD400	1	
095	支柱	SS400	1	
093	デフレクター	CAC406 (BC6)	2	
056	玉軸受	-	2	
053-2	軸受カバー	FC200	1	
053-1	軸受カバー	FC200	1	
051	軸受胴体	FC200	1	
048	インペラナット	S35C	1	
042	軸スリーブ	SUS304	1	
039-3	キー	S50C	1	
039-1	キー	S50C	1	
031	主軸	SUS403	1	
021	羽根車	FCD400	1	
018	グランドカバー	FC250	1	
016	メカニカルシールカバー	SUS304	1	
001	ケーシング	FC250	1	
番号	部品名	材料	個数	摘要

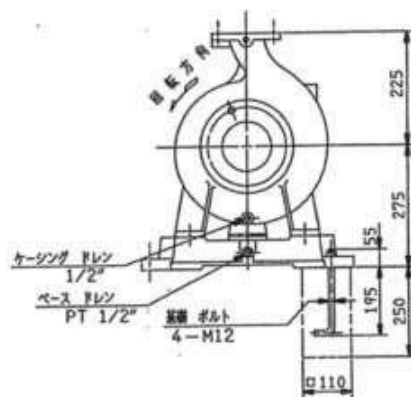
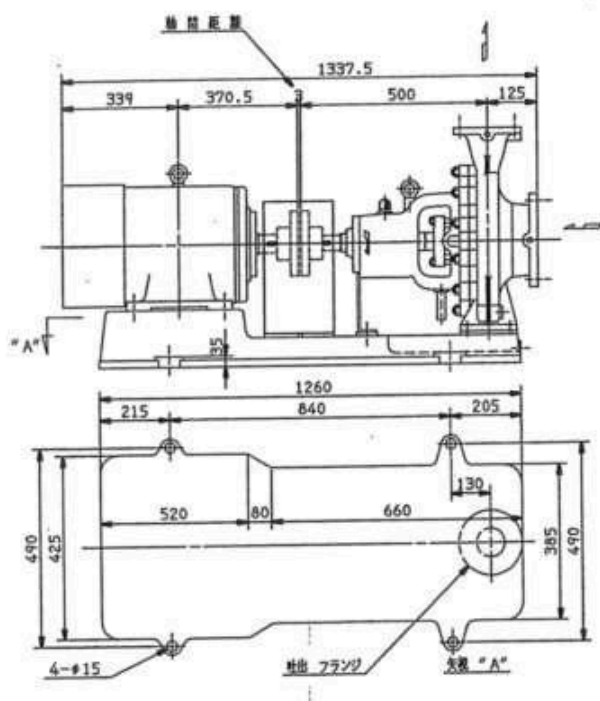
285	空気抜	ポリカーボネイト	1	
255	油面計	合成ゴム/合成樹脂	1	
158	波座金	SK5	1	
122	吊ボルト	S20C	1	
120-28	ボルト	SUS316	1	
120-20	セットスクリュー	SCM435	2	
120-17	セットスクリュー	SUS316	4	
120-13	ボルト	SS400	2	
120-8	ボルト	SS400	8	
120-6	ボルト、ナット	SUS403	4	
120-3	ボルト、ナット	SS400	4	
120-1	ボルト、ナット	SUS403	12	
117-7	ガスケット	オイルシール	2	90×110×0.2
117-6	ガスケット	V# 7010-2N0	1	32×39×1
117-1	ガスケット	V# 7010-2N0	1	275×335×1
115-1	Oリング	テフロン	1	G70
111	メカニカルシール	-	1	
番号	部品名	材料	個数	摘要

発寒清掃工場ポンプ設備中間整備業務

図番

脱気器給水ポンプ断面図

5



部名・質量	数量	計量値
ポンプ	80 kg	タービン油
ベース	91 kg	ISO VG46
モータ	190 kg	容量 0.58 l
合計	361 kg	

モータのターミナルボックスの位置は、
モータ外形図を御参照ください

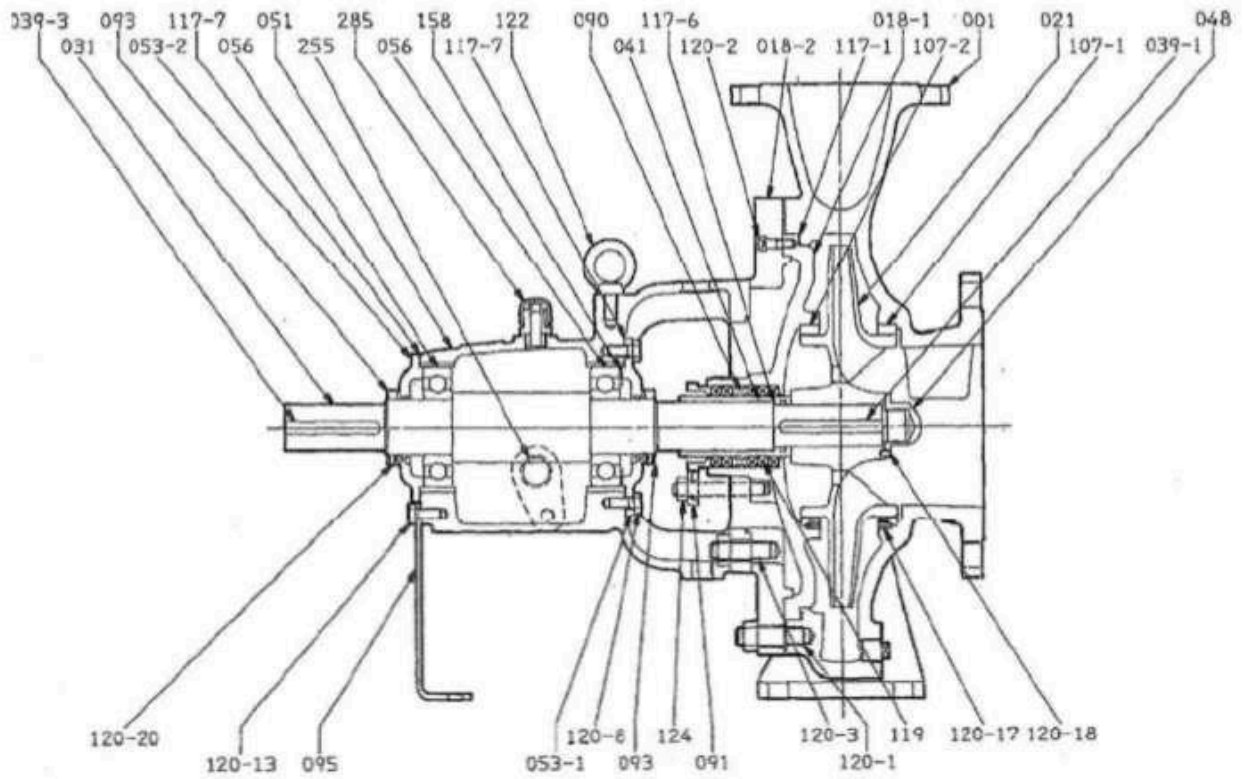
ポンプ型式 荏原製作所製
80×50IFWM3224 R080025701.1/2、R080025701.2/2
14t/h×1MPa
製造年 2014.11

電動機型式 三菱製
SF-JRO AJ4213001、AJ4213002
30kW 420V 2P 52.5A
製造年 2014

支給品

パッキン用スリーブ	041	2個	
玉軸受	056	4個	
ガスケット	117-1	2個	
ガスケット	117-6	2個	
ガスケット	117-7	4個	
グラウンドパッキン	119	10個	
オイル	ダフニースーパータービン46	1.20	

発寒清掃工場	図番
発寒清掃工場ポンプ設備中間整備業務	6
減温水ポンプ外形図	



107-1	ケースウェアリング	SUS304	1	
095	支柱	SS400	1	
093	デフレクター	CAC406 (BC6)	2	
091	パッキン押え	SCS14	1	
090	ランタンリング	SUS304	1	
056	玉軸受	-	2	6308
053-2	軸受カバー	FC200	1	
053-1	軸受カバー	FC200	1	
051	軸受胴体	FC200	1	
048	インペラナット	SUS304	1	
041	パッキン用スリーブ	SUS304	1	
039-3	キー	S50C	1	
039-1	キー	SUS316	1	
031	主軸	SUS304	1	
021	羽根車	SCS13	1	
018-2	グランドカバー (2)	FCD400	1	
018-1	グランドカバー (1)	SCS13	1	
001	ケーシング	SCS113	1	
番号	部品名	材料	個数	摘要

285	空気抜	ポリカーボネイト	1	
255	油面計	合成ゴム/合成樹脂	1	
158	波塵金	SK5	1	
124	パッキン押えボルト	SUS304	2	
122	吊ボルト	S20C	1	
120-20	セットスクリュー	SCM435	2	
120-18	セットスクリュー	SUS316	1	
120-17	セットスクリュー	SUS316	4	
120-13	ボルト	SS400	2	
120-8	ボルト	SS400	8	
120-3	ボルト、ナット	SS400	4	
120-2	ボルト	SCM435	2	
120-1	ボルト、ナット	SUS403	12	
119	グランドパッキン	PH#6501L	5	45×65×10
117-7	ガスケット	オイルシール	2	90×110×0.2
117-6	ガスケット	V#7010-2N0	1	32×39×1
117-1	ガスケット	V#7010-2N0	1	334×355×1
107-2	ケースウェアリング	SUS304	1	
番号	部品名	材料	個数	摘要

発寒清掃工場		図番
発寒清掃工場ポンプ設備中間整備業務		7
減温水ポンプ断面図		